

放射能の安全対策

(2013・03・29 改訂)

有限会社 仲田種苗園

はじめに

仲田種苗園が経営する3農場（矢吹農場、石川町沢田農場、鮫川農場）は、積算放射線量が1ミリシーベルト以下の安全地域に属します。

当社では、さらに各農場の土壌や植生マットの放射能検査を専門機関に依頼、植生マットの用土を栃木県鹿沼市から調達するなどして、放射能に対する安全対策を進めています。

1 放射能検査

各農場の土壌と植生マット土壌の放射能検査については、株式会社加速器分析研究所白河分析センターに依頼しています。その結果、植木露地栽培を行っている石川町沢田農場の土壌の合計セシウムが288ベクレル、鮫川農場の土壌は206ベクレルとなり、培土の安全基準400ベクレルを十分にクリアーしています。

さらに、セシウムは表層から3センチまでに88%が吸着するという研究成果から、当社ではこの部分を除去して出荷するように安全対策を進めています。また当社では、ガイガーカウンターにより、各農場のモニタリング調査を定期的に行っています。

2 植生マット用土は鹿沼市から調達

「野の花マット」などの植生マットは、矢吹農場で生産しています。灌水は湧水ため池を利用していますが、この水質を検査したところ、放射能は検出されませんでした。

さらに植生マットの安全性を追求するために、用土のすべてを、放射線量が平常値に近い栃木県鹿沼市より調達しています。その結果、植生マットの放射能は最大で150ベクレル以下となり、長期的継続的な使用を前提とした土壌改良資材や培土の安全基準である400ベクレルをも下回っています。

報告書№: IAMB-110611 2011年06月16日			
放射能汚染検査報告書 (核種検査 ¹⁾ 、 ¹³⁷ Cs、 ¹³⁴ Cs、γ線スペクトロメータによる検査)			
有限会社 仲田種苗園 申中		株式会社 加速器分析研究所	
放射能測定に係る結果は、下記の通りです。			
品名	矢吹農場用水検査	種類	水
測定器	NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータ CANBEPRO型 Dsary	検出限界	20Bq
結果	放射性ヨウ素131 検出限界以下 Bq/kg	食品衛生法暫定基準値 (Bq/kg)	
	放射性セシウム合計 検出限界以下 Bq/kg	品目	放射性ヨウ素 放射性セシウム [134と137合計]
	放射性セシウム134 検出限界以下 Bq/kg	飲料水・牛乳・乳製品	200 200
	放射性セシウム137 検出限界以下 Bq/kg	野菜・果物類	2000 500
		穀類・肉・卵・その他	- 500
放射性ヨウ素、セシウム共に検出されませんでした。			
注1: 当該の放射能は、国や自治体の基準値より「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」に基づき、検定は、本邦標準規格「放射能測定用標準試料」NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータ標準分析法」を元に検出限界を検査しました。	測定場所	株式会社 加速器分析研究所 白河分析センター	
注2: この測定値は持ち込まれた核種に対する結果である。	測定日	2011年06月16日	

株式会社 加速器分析研究所 564
TEL044-934-0020 FAX044-931-5812

▲矢吹農場用水は「0」



▲ガイガーカウンター



用土協力会社（栃木県鹿沼市）



蒸気消毒（雑草種の80%死滅）



袋詰め